HAP 138億円赤字

9月中間 2期連続、前年より拡大

【千歳】道内7空港を一括運営する北海道エアポート（HAP、千歳）が30日発表した2021年9月中間連結決算は、最終的なもうけを示す純損益が138億2千万円の赤字（前年同期は98億3千万円の赤字）となった。新型コロナウイルス禍による旅客数減少や、空港運営事業の本格化に伴う固定費の増加などが要因。

本業のもうけを示す営業損益は98億2千万円の赤字（前年同期は80億4千万円の赤字）だった。売上高は4月の会計基準変更に伴い、適用範囲を変えており、116億1200万円となった。基準変更前の実質的な比較では、33億3千万円増の177億1千万円となった。

道内7空港の4～9月の旅客数は前年同期比39・2%増の約479万人と回復傾向だが、感染拡大前の19年同期の34・8%にとどまる。国際旅客定期便は昨年3月以降、19カ月連続ゼロで、厳しい状況が続く。（犬飼裕一）

キャンプ×釣り 札幌圏に新施設

釣り具卸販売アイビック（札幌）やアウトドア用品のスノーピーク（新潟県）などは30日、釣りとキャンプを組み合わせたアウトドア施設の企画運営会社キャンパーズアンドアングラーズ（札幌）を設立したと発表した。2023年冬～24年春に第1号の施設を札幌市近郊で開業する方針。

新会社をPRする山井太氏（左から2人目）、牧野良彦氏（同3人目）ら出資企業の代表者

4社、新会社設立

新会社は資本金9800万円。釣り具メーカーのティムコ（東京）と、アイビックの系列会社で調味料など製造のアイビック食品（札幌）も出資し、11月24日に設立した。社長には山井太スノーピーク会長が就いた。釣りやキャンプ場、アウトドア用品の物販店などで構成する施設を道内に3～5カ所展開し、将来的に全国にも広げる。

第1号施設は札幌から車で1時間圏内に候補地がある。副社長に就任したアイビックの牧野良彦社長は「22年春までに方向性を示せると思う」と話した。（生田憲）

CO2吸収証明 50万世帯分取得

北ガス

北海道ガスは30日、石油開発のINPEX（東京）